

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

本講義では、①様々な社会科授業観について理論的に検討しながら自己の社会科授業観を構成し、②社会科学習指導案の作成及び模擬授業を通して社会科教師の実践的な資質を養うことを目的としている。実務の世界で求められているのは、これまで学習指導要領ありきで語られがちであった内容やその取扱いに関して、教師の授業観や主体性を基盤としてそれらをより豊かで多様なものにしていくことである。そのための社会科授業観の構成・再構成の作法や現場での授業改善の研修の作法を取り入れながら講義していきたい。

本講義の大まかな区分は、第1回～4回までが社会科教師と学習指導要領の関係性及び社会科授業観の理論的検討、第5回～7回までが学習指導案の作成、第8回～第11回までが教科書分析を踏まえた単元構想、第12回～第15回までが授業改善の研修の作法を踏まえた模擬授業の実践と授業検討会となっている。

授業計画

第1回	社会科の目標と社会科教師の専門性——よりよい社会科授業の探求
第2回	学習指導要領と社会科授業観の構成——社会科教師の主体性と多様性（ふりかえり①）
第3回	さまざまな社会科授業のカタチ——「問題解決」的な社会科；第3学年
第4回	小学校社会科教科書の分析——「問い」に着目して学習過程を検討してみよう；第4学年
第5回	社会科単元の作り方①——「教科書／副読本分析」から「単元目標と評価・指導展開・評価計画」まで
第6回	社会科単元の作り方②——「単元指導計画」の実際；単元のストーリー展開をつくろう
第7回	社会科単元の作り方③——「社会的な見方・考え方」との関連とICT機器の活用
第8回	思考ツールを用いて調査・発表してみよう①——第5学年国土学習；自然条件と地域的特色
第9回	思考ツールを用いて調査・発表してみよう②——第5学年「食料生産」単元
第10回	思考ツールを用いて調査・発表してみよう③——第5学年「工業生産」単元
第11回	評価課題から単元を分析・構想してみよう——第5学年「情報産業」単元
第12回	本時案を構想し、授業検討会をしてみよう①——第6学年「政治」単元；授業分析の視点と方法
第13回	本時案を構想し、授業検討会をしてみよう②——第6学年「歴史」単元；授業改善の研修の作法
第14回	本時案を構想し、授業検討会をしてみよう③——第6学年「国際」単元；協議会の運営方法
第15回	社会科授業観の再構成——指導計画と実際の授業の検討（ふりかえり②）
第16回	筆記試験

到達目標

- ・理論的・実践的な検討を踏まえて、自らの社会科授業観を自覚しながら学習指導案を作成することができる。
- ・小学校社会の目標や内容の意図を踏まえて、社会科授業を実践・検討することができる。
- ・授業改善の研修の作法を通じて、自己や他者の社会科授業を検討することができる。

履修上の注意

講義の中で紹介する文献を読んだり、複数の教科書を比較・検討して社会科の内容の全体像や教科書会社の見方を捉えたりして学びを進めながら、教育実習までの貴重な実践のチャンスを最大限生かしていきましょう。

予習・復習

できれば以下の参考文献のどれか一つを読んでおくことを望みます。
また、基本的には授業時間外の時間を使いながら、各自（各グループ）の教材研究や学習指導案の作成をしていくことになります。学外の施設や公共図書館などで教材研究をすることも考慮しておいてください。

評価方法

- ・筆記試験：40%
- ・学習指導案：30%
- ・模擬授業・授業検討会における活動とふりかえりシート：30%

テキスト

- ・教科書名：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編
- ・著者名：文部科学省
- ・出版社名：日本文教出版
- ・出版年（ISBN）：2018

参考文献：大澤克美（2019）『小学校社会科教師の専門性育成（第三版）』教育出版。
社会認識教育学会（2019）『小学校社会科教育』学術図書出版社。
原田智仁（2020）『社会科教育のルネサンス—実践知を求めて—』教育情報出版。
澤井陽介・中田正弘（2021）『実践・小学校社会科指導法』学文社。